

interview

「すべては患者さんのために」
心の通う安全で安心な
看護・介護サービスを提供

医療法人社団 新生会 南東北新生病院
総看護師長 横田由美子さん



【支援病院の役割】

地域に必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携を図り、かかりつけ医を支援する病院としての役割を担う。

南東北新生病院の特徴を教えてください。

「南東北新生病院」の前身である旧保科病院が昨年3月11日の東日本大震災後、存続不可能となり、総合南東北病院の支援を受け、「医療法人社団 新生会南東北新生病院」として現在の仮設で診療を行っています。当病院は、急性・亜急性期医療を必要とされる患者さんを受け入れる一般病棟が60床、長期に医療を必要とされる患者さんの医療療養病棟48床、主に介護を必要とされる入居者さんの介護療養病棟48床の3つの病棟があります。診療科は、内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科で、他の病院、クリニック、施設からのご紹介の患者さんが多く、地元の方先生方に通院されている患者さんの後方支援病院として、誠実な医療の提供を目指します。

ご自身の業務内容を教えてください。

私はここで総看護師長をしております。業務内容は、職員の教育・人事、入院（入所）されている患者さん

んの治療・療養環境整備、職員の労働環境の改善や設備に関すること等を総括しています。



仕事を続けていく中で、「やりがい」を感じるのとはどんな時ですか？

病気を治そうと頑張っている患者さんや早く良くなつて欲しいと願っているご家族の方々の姿と共に、一生懸命ケアをさせて頂いている全職員の、一人でも多くの笑顔が見えた時ですね。

今後の抱負をお聞かせください。

平成25年の夏、新病院が完成します。去る6月26日、病院起工式が行われました。病院完成予想図を見た時に、不安と期待感で一杯になりましたが、「すべては患者さんのために」の理念を基に、渡辺理事長をはじめ松本院長と職員一同より一層の努力を尽くすことが地域医療に貢献すべき使命と考えております。回復期リハビリテーションの施設予定に伴い、スタッフの教育にも力を入れ、地域密着を心がけ、皆様のご期待に応え信頼される病院づくりを目指したいと考えています。

読者のみなさんに、メッセージをお願いします。

まだまだ地域の皆様には、「南東北新生病院」の名前と場所も知られていないと思います。総合南東北病院の北側に位置し、一階建ての仮設です。国道4号線からは見えにくいです。仮設とはいえ、施設内は広々として外見からは想像がつかないほどの快適さがあります。よ、職員も明るく元気に働いておりますので、皆さんお声を掛けてください。

平成25年夏、完成予想図



医療法人社団 新生会
南東北新生病院
郡山市八山田6-95
TEL. 024-932-0503(代)

